

競争力のある資本

Daigasグループが保有する競争力のある資本を戦略的に強化し、持続的な成長を目指します。

財務資本	製造資本	知的資本	人的資本	社会資本	自然資本
持続的な事業成長を目指して、規律ある財務戦略に支えられた強固で健全な財務基盤を維持しつつ、企業価値の最大化を図ります。	エネルギー供給のための様々な設備は、当社グループにとって欠かすことのできない資本です。 トランジション期の成長領域として、天然ガス発電所やシェールガス開発等の製造資本を強化していきます。	エネルギー事業で培ったガス合成・触媒に関する技術や、LNG受け入れ基地等の設計・建設技術など、様々な技術開発の知見を保有しています。これらの知的財産を活用するとともに、e-メタンの導入等、カーボンニュートラルに資する技術開発を強化していきます。	中長期的な企業価値向上のためには非連続なイノベーションを生み出すことが重要であり、その原動力となるのは多様な個人による共創と考えています。従業員一人ひとりのエンゲージメント向上に加え、人材の確保・育成を強化し、持続的な成長を目指します。	地域に根差した事業を展開する当社グループは、幅広い分野のステークホルダーと接点を持つ機会を有し、信頼関係を構築しています。ステークホルダーとの連携によるサービス創出を強化し、事業の持続的な成長を目指します。	天然ガスは限りある資源と認識し、効率・効果的な利用に努めるとともにエネルギーの安定供給、保安の確保のため、エネルギー源の多様化を進めています。天然ガスと再生可能エネルギーの有効活用により、“S+3E※”の実現を目指します。 ※S+3E: 安全性 (Safety)、安定供給 (Energy security)、経済効率性 (Economic efficiency)、環境性 (Environment)
2025年3月期末時点					
[財務健全性※] 自己資本比率 55.5% D/E比率 0.50倍 ※発行済ハイブリッド社債の資本性50%を調整	設備投資額(2024年度実績) 2,217億円 ガス製造所 2カ所 中央指令室※ ※24時間365日の安定供給・保安確保	特許保有件数(国内) 2,740件 研究開発費(2024年度実績) 126.9億円 セグメントごとの開発費(国内エネルギー:93.7億円 LBS:33.2億円)	グループ従業員数 21,404人 ワークエンゲージメントスコア※ 52.2 ※アドバンテッジタフネス調査を利用している企業のワークエンゲージメント結果における偏差値	サービスチェーン数 約200拠点 低圧電気供給件数 約192万件 ガス供給件数 約511万件 ステークホルダーの皆さまとの共創関係	LNG取扱量(2024年度実績) 約1,120万トン 再生エネ普及貢献量 370万kW

「中期経営計画2026」目標

さらなる強化の方向性

財務健全性に配慮しながら財務レバレッジを拡大

ROIC 5.0%程度
ROE 8.0%程度
自己資本比率 45%以上
D/E比率 0.8以下(2026年度)
P.11-P.12、P.38

姫路天然ガス発電所の建設等の電力事業、米国のシェールガス開発の加速等

成長投資のうち、重点成長領域への投資約4,600億円(2024年度-2026年度)
P.24、P.41、P.43

メタネーション技術開発の推進

成長投資のうち、カーボンニュートラル領域への投資 約1,000億円(2024年度-2026年度)
P.24、P.29

人材の確保・育成の強化

P.36

ステークホルダーとの連携による新ビジネス・新サービスの創出

P.35

再生可能エネルギーの普及に向けた貢献

再生エネ普及貢献量400万kW(2026年度)
P.41